

# 江戸東京漁業ゆかりの地～佃島・日本橋・築地～

## 東京都・中央区



住吉神社

徳川家康の特別な信任を受けて摂津国（現在の大阪府）佃村の漁師たちが江戸に呼ばれ、隅田川河口の干潟を造成したことに始まるのが「佃島」。漁師たちが船中の保存食として小魚を塩辛く煮付けたのが佃煮。水揚げされた魚は、幕府に献上され、残った魚が市中で売買された。その売買のために開かれた魚市の場所が「日本橋」だった。

日本橋は全国から商人や職人の集まる町として賑わい、日本経済の中心として発展した。日本橋のもとに開かれた魚市場は、佃島住民の肴店が定着して発展したものであり、江戸っ子たちの取引で賑わった。そして魚市場は花柳界や芝居小屋と並び、1日に千両が動くと言われる程の活気があった。

大正12年（1923）の関東大震災で日本橋は大きな被害を受けた。同年に市場の近代化と衛生的な施設を目指した「中央卸売市場法」が制定されたこともあり、日本橋の魚市場は中央卸売市場として「築地」に移転する。昭和10年に現在の築地市場が開設され、東京都民などの食を支えている。

### TOPICS

・佃祭 住吉神社例大祭 8月上旬 開催

### お問い合わせ先

中央区観光協会

TEL / 03-3546-6525

URL / <http://www.chuo-kanko.or.jp/>

### 【交通】

地下鉄 / 有楽町線・大江戸線月島駅7番出口から徒歩5分

